

# 本社と併設営業所を移転

## サガレン 全社で近隣住民獲得へ



京阪・関東地区で5店舗を展開するサガレンタ

た。(写真：新社屋)

リース(株)(右京区、呉羽勝樹社長)は1日、本社と本社隣接拠点を移転し、新たな営業体制をスタートさせた。移転先は、旧本社の北西1・3kmに位置する太秦開日町で、創業50年目の移転・ブランドオープン。また、移転にもなつて併設拠点の丸太町営業所は太秦営業所に名称変更し、同日営業を開始し

新社屋の敷地面積は580坪で、旧本社のおよそ1・8倍。建物面積も380坪まで上げた。車両保管スペースを全天候型としたことが新拠点の最大の特長で、洗車を含む保守管理作業の効率アップが見込める。収容台数は100台。

防止のための店頭案内や、車種選びのアドバイスといった業務のスキルアップに向け、教育制度を充実させていきたい考え。これらに加えて、多くの拠点が住宅地の一角に店舗を構えているという立地条件を活かし、近隣一般ユーザーの掘り起こしも行っていく。

同社の古市義人会長は「同業者との連携を深めながら、地元住民や近隣ユーザーに愛されるレンタカー会社を目指し、大手やディスカウントレンタカーとの棲み分けを図りたい」としている。